SAVINGDA-plus管理コンソール

システム管理者用
取扱説明書

［第２版］

目次

お使いになる前に

この度は、「SAVINGDA-plus」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、システム管理者向けの説明書となっており、SAVINGDA-plus 管理コンソールの機能、設定から運用方法までを解説いたします。

重要なお知らせ（注意事項）

- SAVINGDA-plus 管理コンソールのご利用の前に、本書および使用許諾書の内容をご確認の上、正しくお使いください。
- 本製品は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービス及び技術サポートはおこなっておりません。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法律などの規制をご確認のうえ必要な手続きをお取りください。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することを禁止します。

登録商標および商標についてのお知らせ

☐ Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corp.の登録商標です。

☐ SAVINGDA は株式会社日立ケーイーシステムズの登録商標です。

☐ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

制限事項

SAVINGDA-plus 管理コンソールをご利用する上での制限事項を記載します。
内容をよくご確認の上ご利用ください。

現象	対処
インストールするときにエラーが発生する。	管理者権限を持たないユーザーでは、インストール・アンインストールは行えません。管理者権限を持つユーザーでログインして、インストール・アンインストールを行ってください。
アンインストールするときにエラーが発生する。	
アンインストールした後に再度インストールを行うとエラーが発生する。	アンインストールした後は、一度再起動を行ってください。

お問い合わせ先

株式会社　日立ケーイーシステムズ
ホームページ　 http://hke-store.jp/index.html

SAVINGDA-plus 管理コンソールとは

「SAVINGDA-plus 管理コンソール」は、クライアント PC 上で動作する SAVINGDA-plus クライアントの節電設定、情報収集を一元管理するためのツールです。

SAVINGDA-plus 管理コンソールの動作環境について

SAVINGDA-plus 管理コンソールの動作環境は以下のとおりです。

SAVINGDA-plus 管理コンソール	対応 OS
ラージパッケージ（200 クライアント）用	Microsoft® Windows® Server 2003 R2 Service Pack 2 Microsoft® Windows® Server 2008 Service Pack 2
スモールパッケージ（10 クライアント）用	Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 3 Microsoft® Windows® Vista Business Service Pack 2 Microsoft® Windows® 7 Professional Service Pack 1

また、ラージパッケージ用をインストールする環境には、Microsoft SQL Server がインストールされている必要があります。

SAVINGDA-plus 管理コンソール	対応 SQL Server
ラージパッケージ用	Microsoft® SQL Server® 2005 Service Pack 3 Microsoft® SQL Server® 2008 Service Pack 1 ※Express Edition は動作保証の対象外

導入の手順

SAVINGDA-plus の導入手順は以下のとおりです。
各手順における詳細な操作方法については、それぞれに対応する項目を参照してください。

1. 管理者 PC に「SAVINGDA-plus 管理コンソール」をインストールする。

↓

2. 「SAVINGDA-plus 管理コンソール」の設定をする。
※グループ登録を行います。

↓

3. クライアント PC に SAVINGDA-plus クライアントをインストールする。

↓

4. メンバーの登録を行う(自動登録)。

↓

5. 節電設定をクライアント PC に配信する。(あるいはクライアントPCで節電設定を行う。)

↓

6. クライアント PC から節電情報を取得する。

1. *SAVINGDA-plus*管理コンソールのインストール

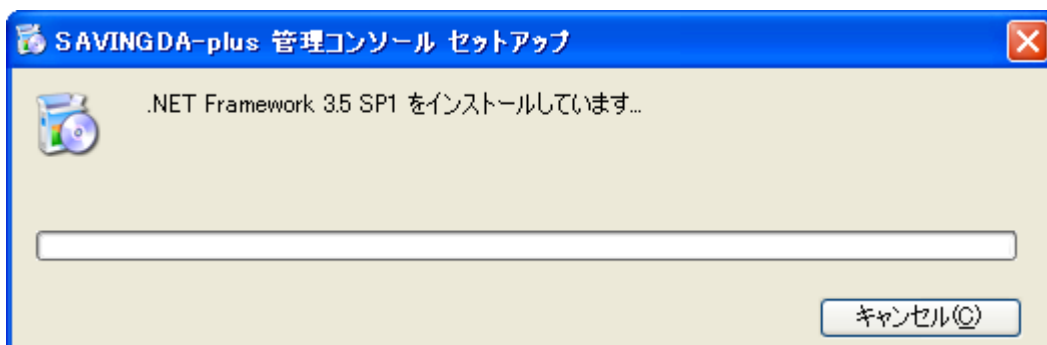
管理者用 PC に、クライアントの管理や制限設定を行う「SAVINGDA-plus 管理コンソール」をインストールします。

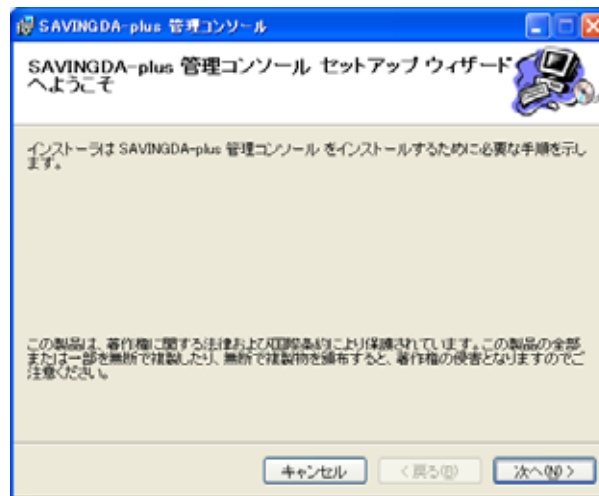
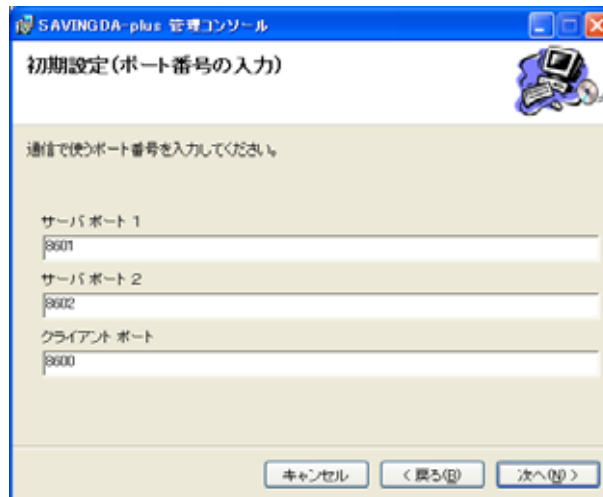
インストールを行う前に、OS が対応 OS であることを確認してください。
また古いバージョンがインストールされている場合、先にアンインストールを行ってください。

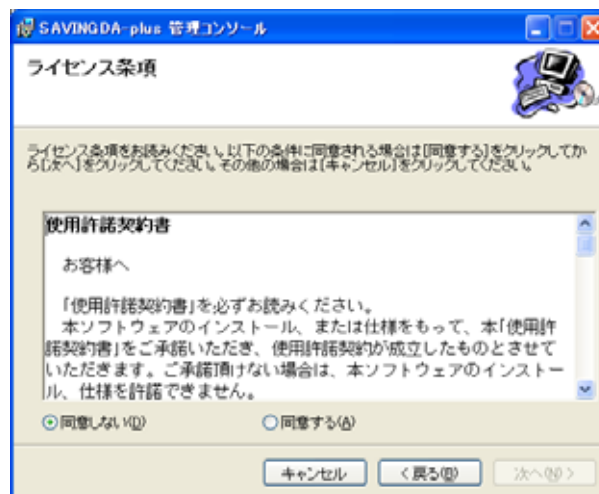
【インストール】

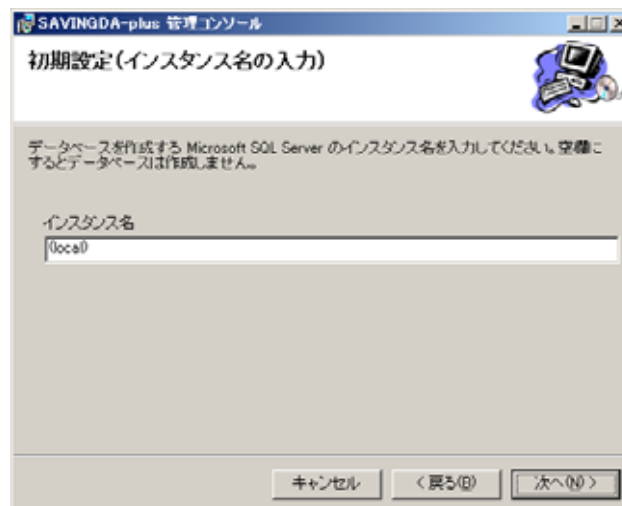
1. 管理者 PC で、インストール CD の"Server"フォルダにある"Setup.exe"を実行してください。
2. ランタイムが未インストールの場合は、まずランタイムの使用許諾契約書が画面に表示されます。使用許諾契約書をお読みになり、内容に同意していただければ「同意する」を押してください。内容に同意していただけない場合は、「同意しない」を押してインストールを中断してください。
   ※ランタイムが既にインストールされている場合は、2～3 の画面は省略されます。

＜ランタイム使用許諾契約書画面＞

3. 「同意する」を押すとランタイムのインストールを開始します。

＜ランタイムインストール中画面＞

4. ランタイムのインストールが終了したら、SAVINGDA-plus 管理コンソールのインストールとなります。
   次の画面が表示されたら、「次へ」を押してください。

＜インストーラ起動時画面＞

5. 使用許諾契約書が画面に表示されます。使用許諾契約書をお読みになり、内容に同意していただければ「同意する」をチェックして「次へ」を押してください。内容に同意していただけない場合は、「キャンセル」を押してインストールを中断してください。

＜インストーラ使用許諾契約書画面＞

6. ネットワークに用いるポート番号を登録する画面が表示されます。
   特に不都合が無い限り、デフォルト設定のままで「次へ」を押してください。
   他のアプリケーションで使用している場合は、別のポート番号で登録してください。

＜ポート番号登録画面＞

7. ラージパッケージ用の場合のみ、データベースを作成する Microsoft SQL Server のインスタンス名を入力する画面が表示されますので、入力して「次へ」を押してください。
   再インストールなどで既にデータベースがある場合は、インスタンス名を入力しないでください。

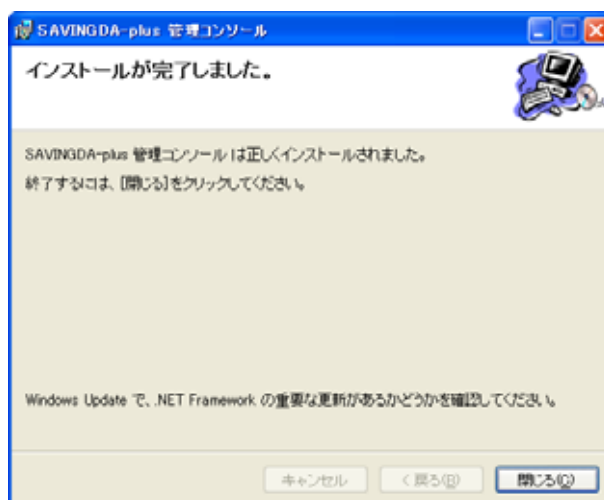
＜インスタンス名入力画面＞

8. インストール先を指定する画面が表示されます。
   特に不都合が無い限り、デフォルト設定のままで「次へ」を押してください。

＜インストール先指定画面＞

9. インストールの準備が完了すると、下記のインストールの確認を示す画面が出ますので、「次へ」を押してください。

＜インストールの確認画面＞

10. インストールが完了すると、下記の画面が出ますので、「閉じる」を押して、インストールを終了してください。

＜インストール完了画面＞

11. ネットワークを利用した制限設定ファイルの配信、およびクライアント PC からの情報取得機能を利用する場合は、ファイアウォールの設定を行います。

※「SAVINGDA-plus 管理コンソール」はポート「8600」～「8602」を使用します。
Windows ファイアウォールを使用している場合の設定方法については、『（付録1）ファイアウォールの設定方法』を参照してください。
その他のファイアウォールアプリケーションを使用している場合は、取扱説明書を参照してください。

2. SAVINGDA-plus 管理コンソールの起動と終了

ここでは、「SAVINGDA-plus 管理コンソール」の起動／終了方法について説明します。

画面構成について

SAVINGDA-plus 管理コンソールの画面構成を説明します。

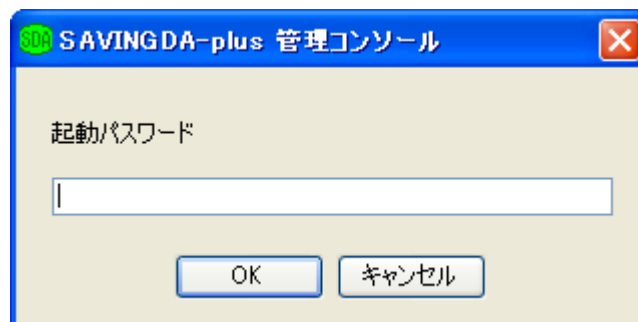
※本説明書では、以後、以下の画面に赤色で示すように、画面左側をツリービュー、右側をメインビュー、画面上部（ファイルやヘルプと表示されている部分）をメニューバーと呼称します。
メインビューには、『全体管理情報』『グループ管理情報』『クライアント情報』があります。

＜DA 管理コンソール画面＞

SAVINGDA-plus 管理コンソールを起動する

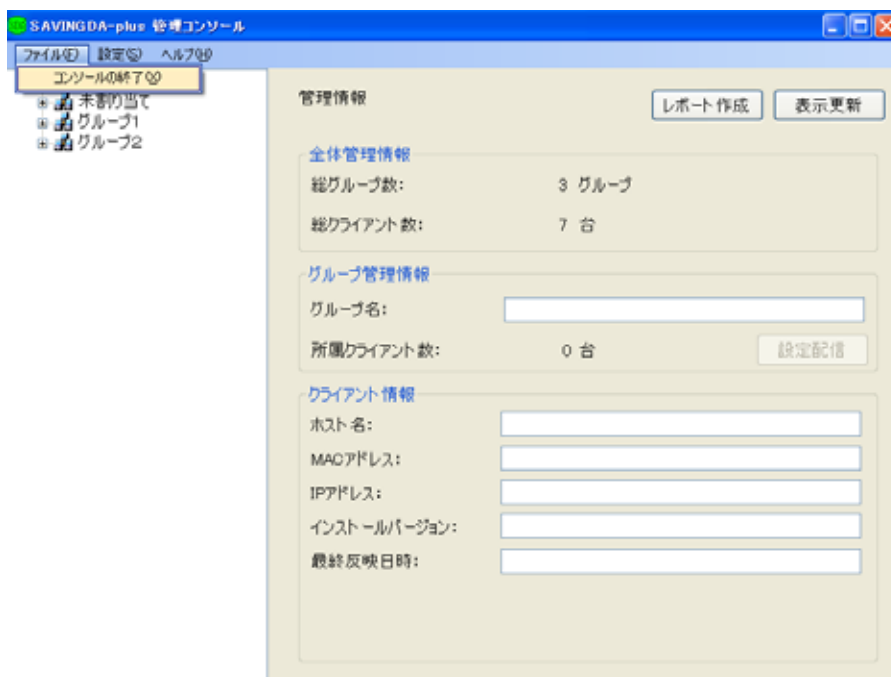
1. 管理者 PC で「SAVINGDA-plus 管理コンソール」を起動します。

※「SAVINGDA-plus 管理コンソール」の起動は、「スタート」→「すべてのプログラム」→「SAVINGDA-plus 管理コンソール」の順に移動し、「SAVINGDA-plus 管理コンソール」をクリックします。

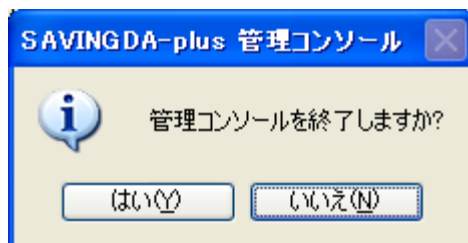
2. SAVINGDA-plus 管理コンソールが起動すると、起動パスワードの入力画面が表示されます。

＜起動パスワード入力画面＞

起動パスワードとは、半角の英大文字（A～Z）・英小文字（a～z）・数字（0～9）の組み合わせからなる 3～32 文字の文字列です。
初回起動時に入力した文字列が、管理者パスワードになります。
また、管理者パスワードは、後で変更することが可能です。

SAVINGDA-plus 管理コンソールを終了する

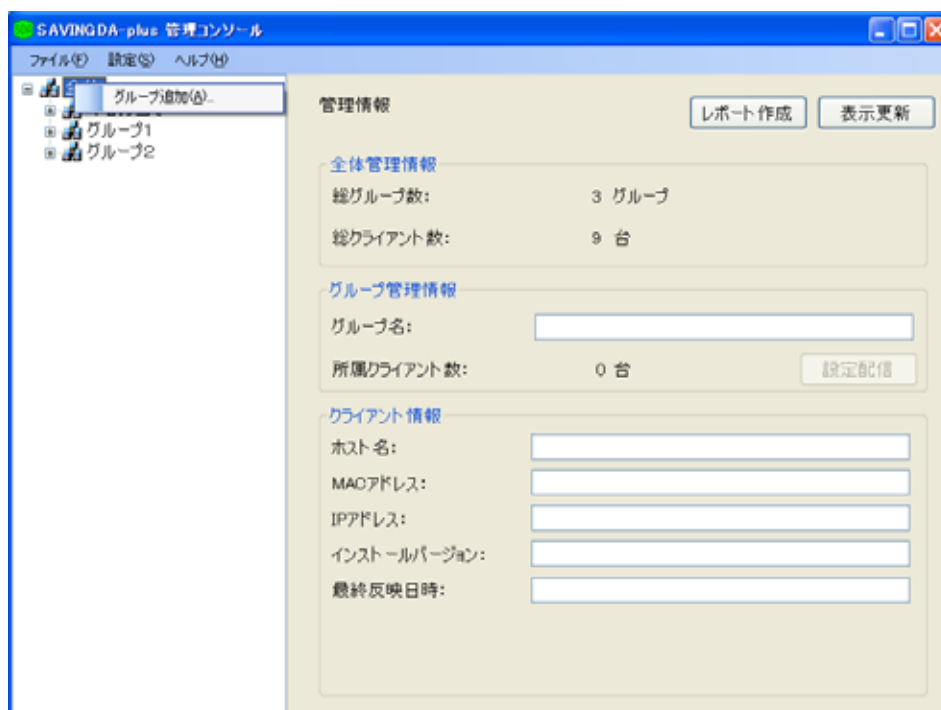
1. メニューバーの、[ファイル]－[コンソールの終了]をクリックします。

＜コンソールの終了＞

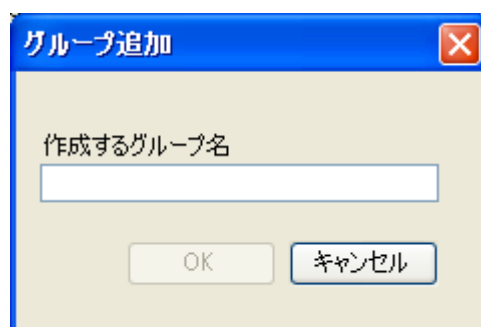
2. クリックすると、次に示す SAVINGDA-plus 管理コンソールの終了確認画面が表示されます。
「はい」をクリックすると、SAVINGDA-plus 管理コンソールを終了します。

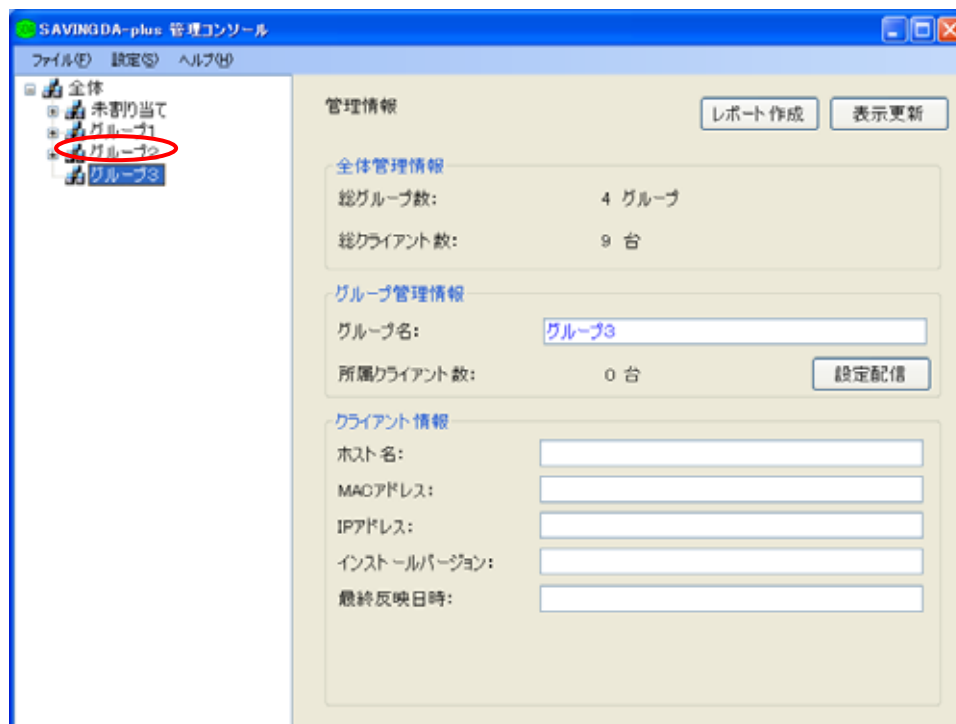
＜SAVINGDA-plus 管理コンソール終了確認画面＞

3. グループとメンバーの管理について

ここでは、グループとメンバーの管理について説明します。

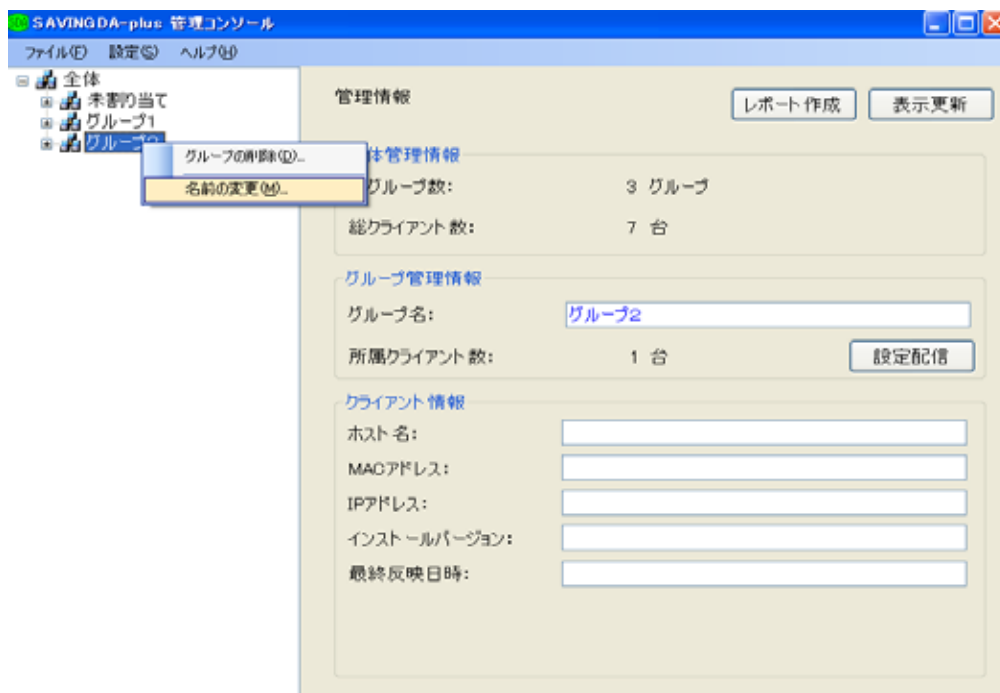
グループを追加する

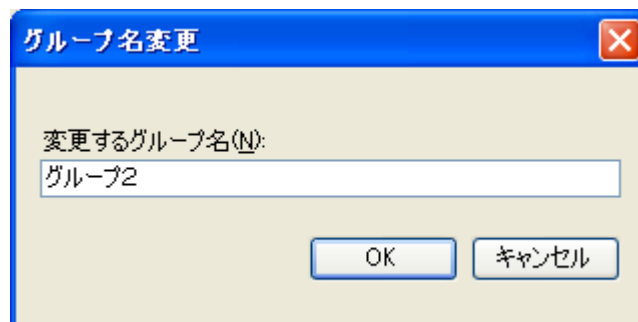
1. ツリービューから「全体」を右クリックすると、コンテキストメニューに「グループ追加」が表示されます。

＜グループ管理情報管理画面＞

2. グループを追加する場合は、「グループ追加」をクリックすると次の画面が表示されます。

＜グループ追加画面：編集＞

3.　グループ名に追加するグループ名を入力して「OK」をクリックすると、ツリービューにグループが追加されます。

＜グループ追加後画面＞

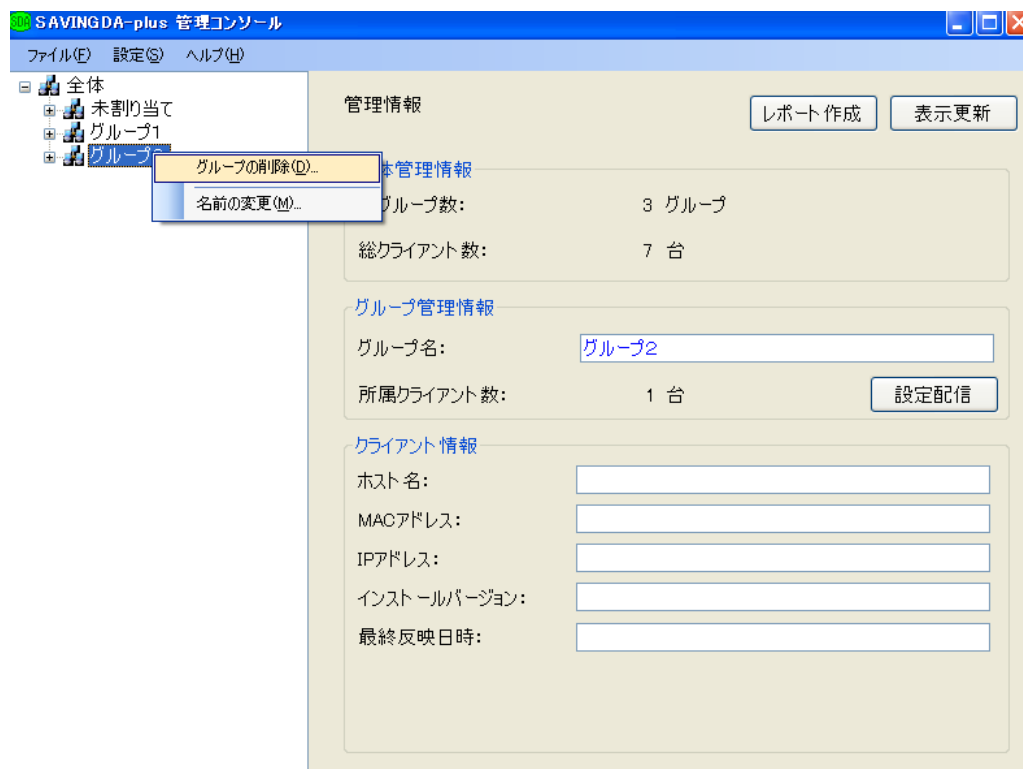
グループ名を変更する

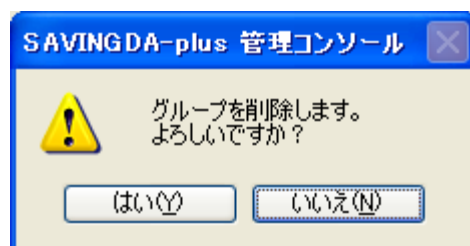
1. ツリービューからグループ名を変更するグループを右クリックすると、コンテキストメニューに「名前を変更」が表示されます。
   グループ名を変更する場合は、「名前を変更」をクリックすると次の画面が表示されます。

＜グループ管理情報管理画面＞

2. グループ名を変更する場合は、「名前を変更」をクリックすると次の画面が表示されます。

＜グループ名変更画面：編集＞

3. グループ名に変更後の名称を入力して「OK」をクリックすると、グループ名が変更されます。

グループを削除する

1. ツリービューから、削除したいグループを右クリックし、コンテキストメニューから「グループの削除」をクリックします。

＜グループの削除メニュー＞

2. 「グループの削除」をクリックすると、次に示すような削除を確認する画面が表示されます。

＜グループの削除：確認画面＞

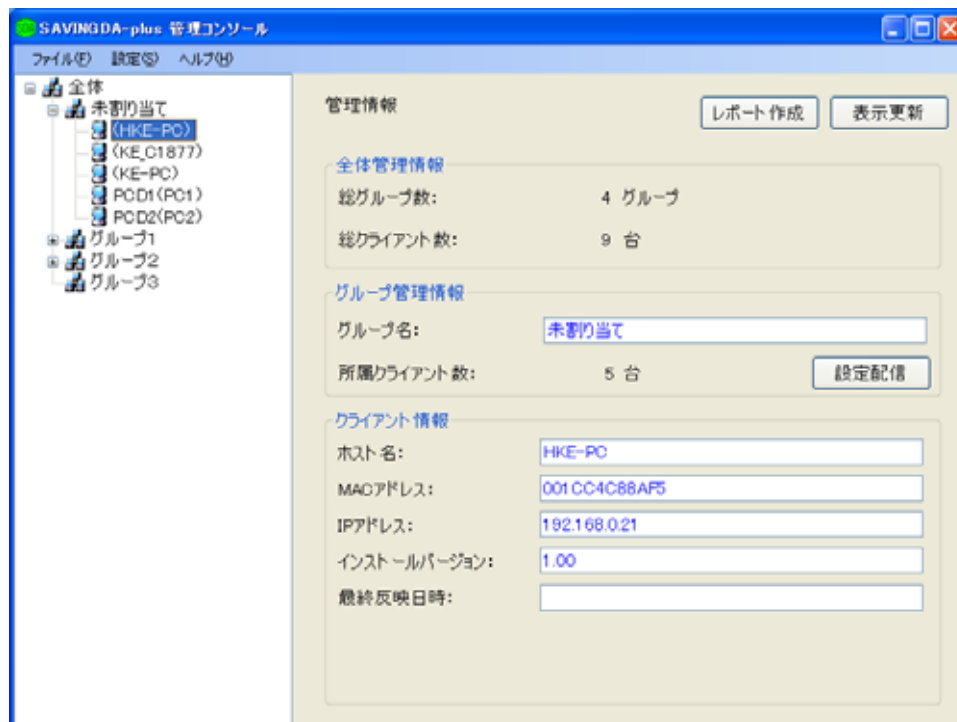
3. 「はい」をクリックすると、ツリービューから、グループが削除されます。

【注意事項】グループを削除した場合は元に戻せません。

メンバーを追加する

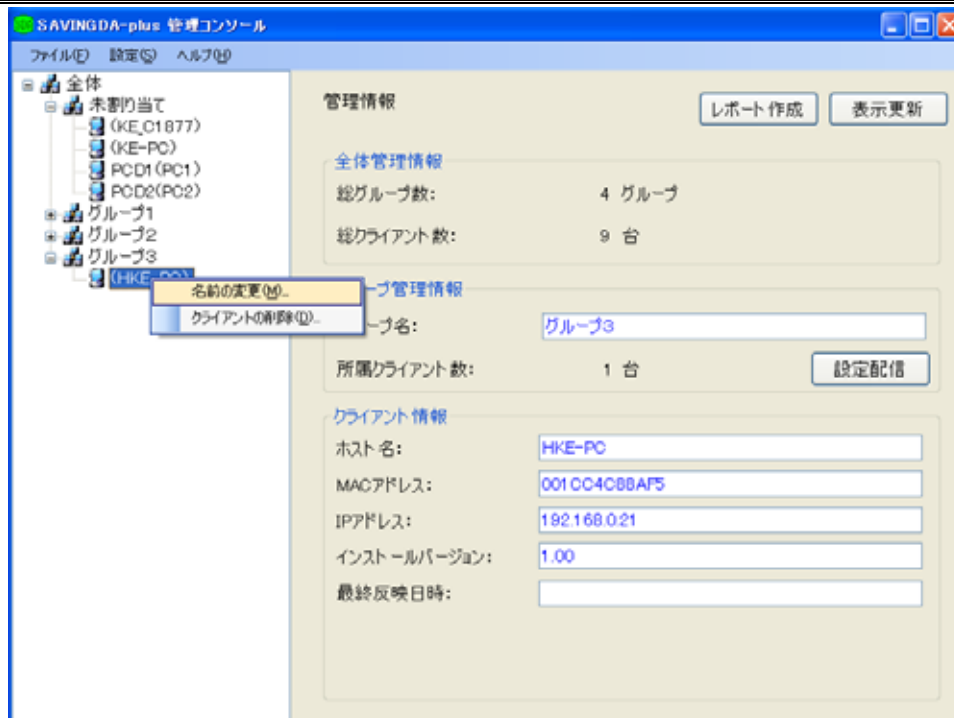
クライアントPCに SAVINGDA-plus クライアントをインストールすると、管理者用PCにメンバーへの追加要求が通知され、メインビュー右上の「表示更新」ボタンを押すと「未割り当て」グループに登録されます。

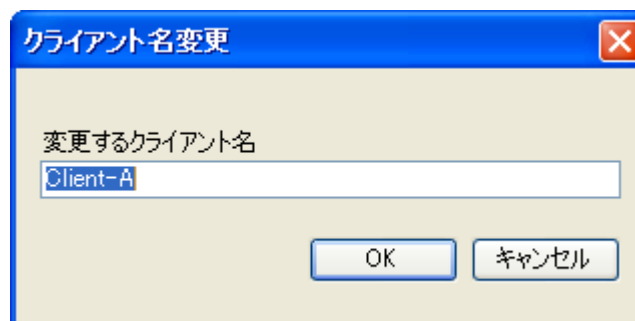
メンバーを移動する

ツリービューから移動したいメンバーを選択して、移動先のグループにドラッグアンドドロップすると、グループ間をメンバーが移動します。

＜グループ移動前画面＞

＜グループ移動後画面＞

メンバーの情報を変更する

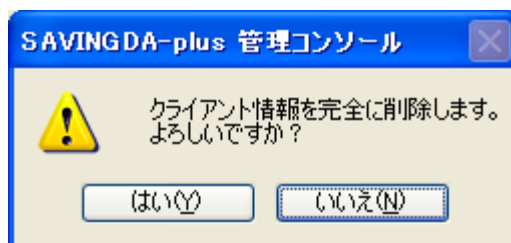
1. ツリービューで変更するメンバーが所属するグループを展開します。
   情報を変更するメンバーを右クリックして、コンテキストメニューから「名前の変更」をクリックします。

＜メンバー情報画面＞

2. クリックすると次の画面が表示されます。
変更するクライアント名に変更後の値を入力した後「OK」ボタンをクリックすると、ツリービューに変更が反映されます。

＜名前の変更画面：編集＞

メンバーを削除する

1. ツリービューで削除するメンバーが所属するグループを展開すると、グループの下にメンバーが表示されます。

＜メンバーリスト画面＞

2. メンバーを右クリックして、コンテキストメニューから「クライアントの削除」をクリックすると、次の画面が表示されます。

＜メンバーの削除：確認画面＞

3. 「はい」ボタンをクリックすると、ツリービューのメンバーリストから、選択したメンバーが削除されます。

4. クライアント情報について

クライアント情報には、以下の情報が表示されます。

- ホスト名（クライアント PC のフル コンピュータ名）
- MAC アドレス（クライアントPCのMACアドレス）
- IPアドレス（クライアントPCのIPアドレス）
- SAVINGDA-plus クライアントのインストールバージョン
- SAVINGDA-plus クライアント節電設定の最終反映日時

ツリービューにて情報を表示したいクライアントをクリックすると、「クライアント情報」がクリックしたクライアントの情報に更新されます。

クライアント情報はメインビュー右上の「表示更新」ボタンを押すことにより更新されます。

＜クライアント情報の表示＞

5. 節電量レポート機能について

ここでは、節電量レポートの出力機能について説明します。

節電量レポートは、各クライアントが起動したときに前日までのレポートを SAVINGDA-plus 管理コンソールに通知しますので、各クライアントの現在日のレポートは出力されません。メインビュー右上の「表示更新」ボタンを押すと、SAVINGDA-plus 管理コンソール起動後に新たに通知された情報を取り込みます。

メインビューの「レポート作成」ボタンを押すと、節電量情報画面が表示されます。

＜節電量情報ダイアログ＞

レポートを出力したい対象に応じて①から④の各項目を選択し、「レポート作成」を押すと別画面で対象のレポートを表示します。「CSV 作成」を押すと CSV 形式で対象のレポート CSV ファイルを保存する画面になります。
以下に「レポート作成」を押したときのレポート画面を表示します。

2011年6月4日

節電量情報：グループ単位(日毎)

集計期間 ： 2011年5月1日~2011年5月31日

グループ名 ： グループ 1

日付	値(Wh)
2011/05/07	6.0
2011/05/06	6.0
2011/05/05	6.0
2011/05/04	6.0
2011/05/03	6.0
2011/05/02	6.0
2011/05/01	6.0

＜節電量情報グループ単位（日毎）＞

6. 節電設定をクライアント PC に配信する

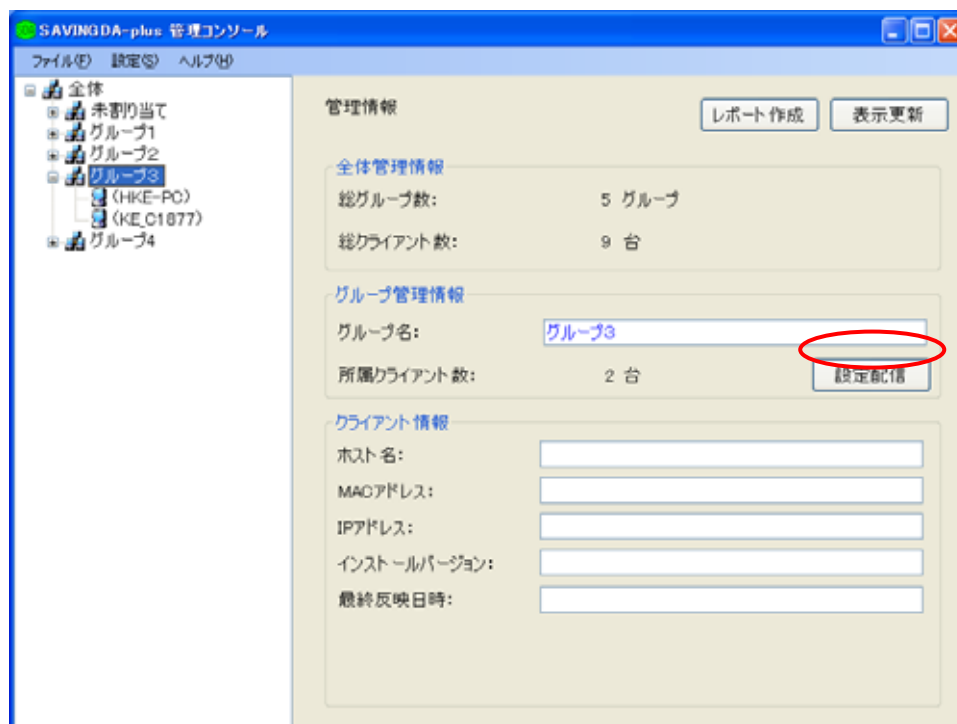
節電設定を、クライアント PC へ配布／適用する方法について説明します。

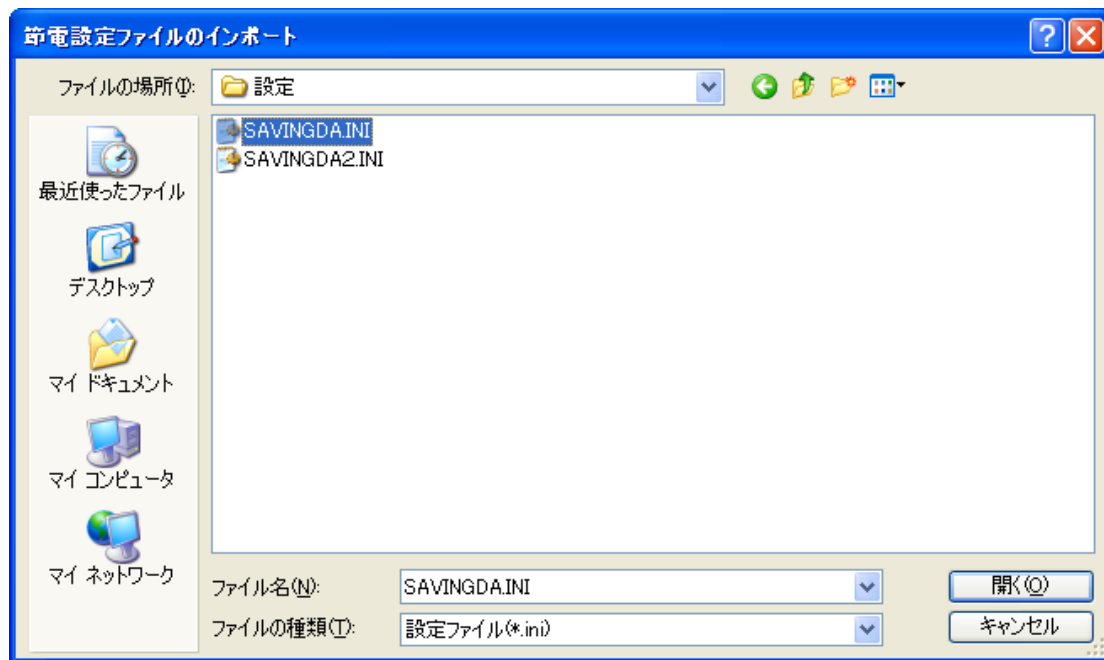
節電設定のクライアント PC への適用方法

SAVINGDA-plus 管理コンソールからは、グループ単位で節電設定をクライアントPCに配布することができます。

節電設定を行うには、まずクライアントPCで SAVINGDA-plus クライアントにより節電スケジュールと節電量値設定を行い、設定ファイルをオプション機能によりエクスポートする必要があります。
手順は SAVINGDA-plus クライアントマニュアルの節電スケジュール設定、節電量値の設定、オプション機能をご覧ください。
以下、エクスポートした設定をクライアントに配布し、適用する方法について説明します。

※ネットワークを利用して設定を配信・適用する際には、予めファイアウォールの設定をする必要があります。ファイアウォールの設定については、巻末の『(付録1) ファイアウォールの設定方法』を参照してください。

1. 管理用PCで、「SAVINGDA-plus 管理コンソール」を起動します。
2. ツリービューから、設定を配信・適用するグループをクリックします。

＜グループ管理画面＞

3. メインビューに選択したグループの管理情報が表示されたら、グループ管理情報枠内にある「設定配信」ボタンをクリックします。設定ファイルをインポートする画面が表示されます。

＜節電設定ファイルのインポート画面＞

4. 選択グループに適用したい設定ファイルを選択して「開く」をクリックすると、グループ内のメンバーへの設定ファイルへの配信が開始されます。

ネットワーク配布に失敗したメンバーがいた場合、以下について確認してください。

- 対象のメンバーがネットワークに接続されていて、PC が起動しているか
- マイネットワーク上で対象の PC が表示できるか
- 対象のメンバーに「SAVINGDA-plus クライアント」がインストールされているか
- 対象 PC および管理者用 PC のファイアウォールの設定が適切であるか
- 登録している PC 名に間違いがないか

上記全ての項目に問題がなく、配布に失敗する場合は各クライアントPCで個別に設定を行ってください。

特定アプリケーション起動時のスリープ抑止

クライアント PC において特定のプログラムが起動している状態ではスリープ状態（スタンバイや休止状態）に入ることを抑止したい場合、クライアントPCからエクスポートした節電設定ファイルに追記して配信することにより、クライアントPCにおいて特定アプリケーションの起動を監視し、そのアプリケーションが起動しているときにスリープ状態に移行しないようにします。

節電設定ファイルに追記する内容は以下の通りです。

内容	説明
[APMONITOR]	セクション名(すべて半角)。以下の内容の前に記載必須です。
APxx（xx=00～09）	・監視したいプログラムの、タスクマネージャでのイメージ名(拡張子部分を除く)を以下の書式で記載します。 APxx=イメージ名 (例) Internet Explorer のイメージ名 タスクマネージャでのイメージ名：iexplore.exe APxx に記述するイメージ名：iexplore ・AP00～AP09(すべて半角)にそれぞれ 1 プログラムずつ、最大 10 個指定可能です。

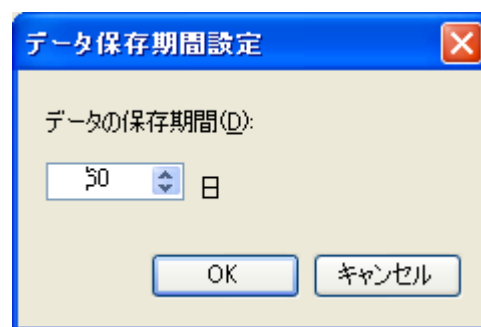
(例)インターネットエクスプローラを監視したいプログラムに設定する場合の追記内容

```
[APMONITOR]
AP00=iexplore
AP01=
AP02=
AP03=
AP04=
AP05=
AP06=
AP07=
AP08=
AP09=
```

7. その他の機能について

ここでは、その他の機能について説明します。

データ保存期間設定

メニューバーから[設定]－[データ保存期間設定]をクリックすると、次のデータ保存期間設定画面が表示されます。
入力した後に「OK」ボタンをクリックして、データ保存期間の設定を完了してください。

＜データ保存期間設定画面＞

「SAVINGDA-plus 管理コンソール」は、登録された全てのグループの全てのメンバーの節電量情報を随時収集して、管理PC内に蓄えています。
そして、「SAVINGDA-plus 管理コンソール」は、その起動時に、蓄えられている全ての節電量情報の日付をチェックして、保存期間を超過しているデータが存在しているかどうかのチェックを行います。
この機能は、その最大保存期間を変更するための機能です。

起動パスワード変更

メニューバーから[設定]－[起動パスワード変更]をクリックすると、次の起動パスワード変更画面が表示されます。
「現在の起動パスワード」に現在のパスワード、「新しい起動パスワード」と「新しい起動パスワードの再入力」に新しく設定するパスワードをそれぞれ入力した後に「OK」ボタンをクリックして、パスワードの変更を完了してください。

＜起動パスワード変更画面＞

※起動パスワードとは、半角の英大文字（A～Z）・英小文字（a～z）・数字（0～9）の組み合わせからなる3～32 文字の文字列です。

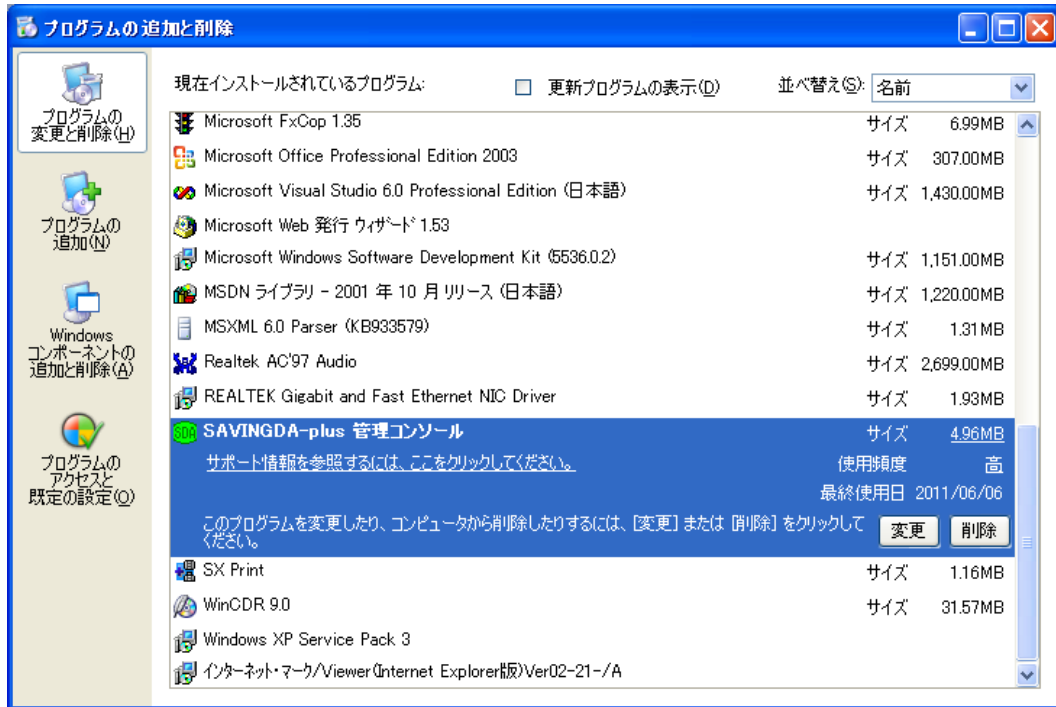
管理コンソールについて

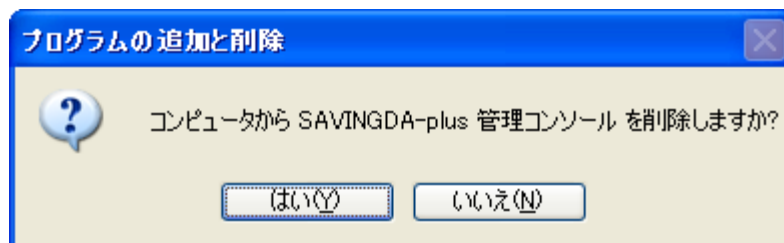
メニューバーから[ヘルプ]－[管理コンソールについて]をクリックすると、次のバージョン情報および管理者情報画面が表示されます。

＜バージョン情報および管理者情報画面＞

8. SAVINGDA-plus 管理コンソールのアンインストール

SAVINGDA-plus 管理コンソールの使用を中止するなどシステムから削除する場合は、下記手順に従ってアンインストールを行ってください。

1. 「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」を開きます。
2. 一覧の中から「SAVINGDA-plus 管理コンソール」を選択して、「削除」ボタンをクリックします。

＜プログラムの追加と削除画面＞

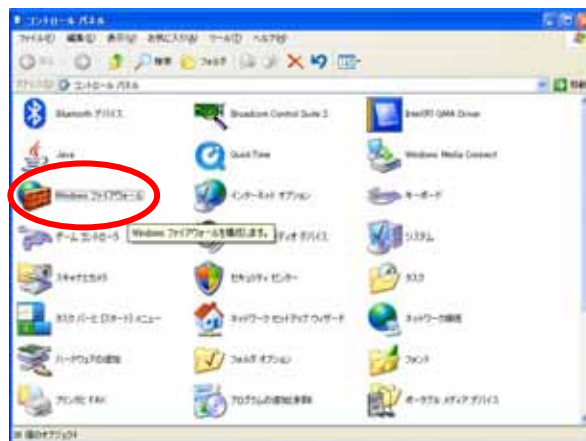
3. 「コンピュータから SAVINGDA-plus 管理コンソール を削除しますか？」というメッセージダイアログ画面が表示されますので、「はい」ボタンをクリックします。

＜削除確認画面＞

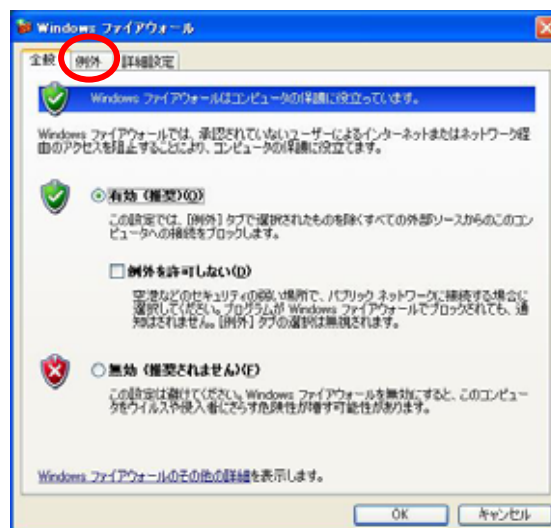
4. ファイアウォールの設定をしている場合は元に戻します。

(付録1)ファイアウォールの設定方法

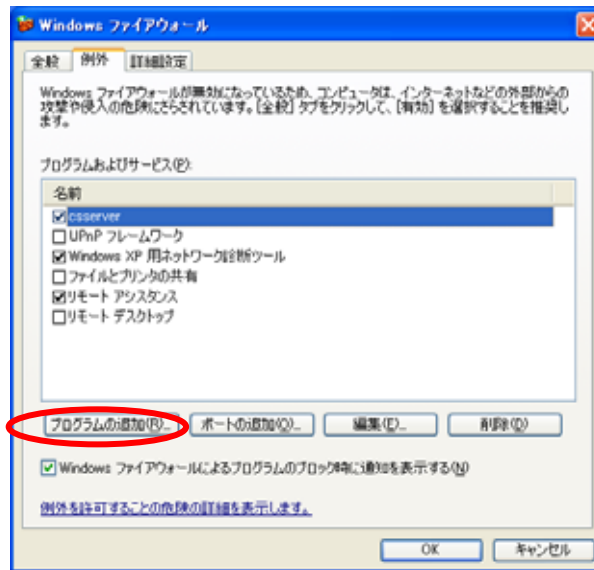
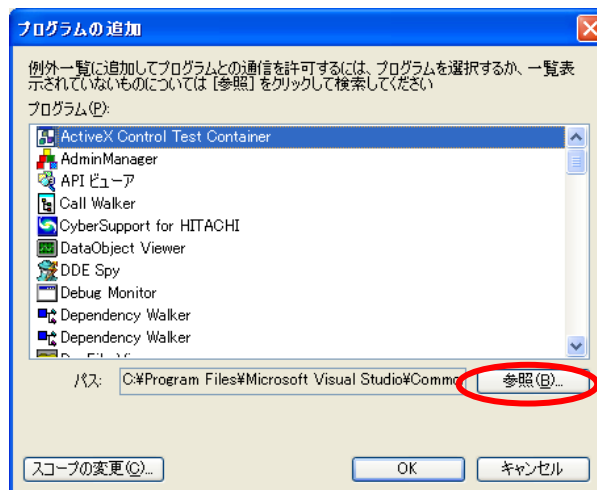
SAVINGDA-plus 管理コンソールでは、ネットワークを利用して設定ファイルのクライアント PC への送信や、クライアント PC の情報を取得する通信機能を備えています。通信機能を有効にするためには、ご利用の PC 環境に応じて管理者 PC および、クライアントPCのファイアウォールの設定を変更する必要があります。ここでは、Windowsファイアウォール機能で、ポート設定を行う場合の方法について説明します。

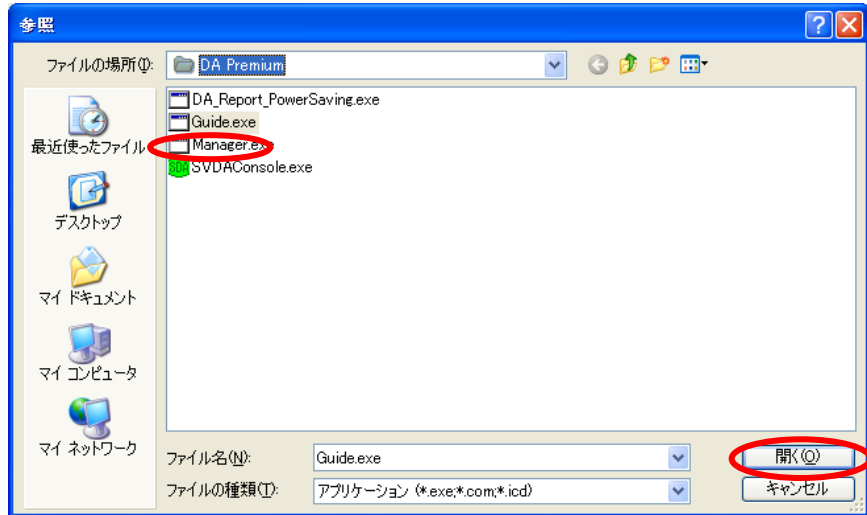
Windows ファイアウォール以外のファイアウォールソフトをご使用の場合は、ご使用のファイアウォールソフトの説明書に従ってポートの設定を行ってください。

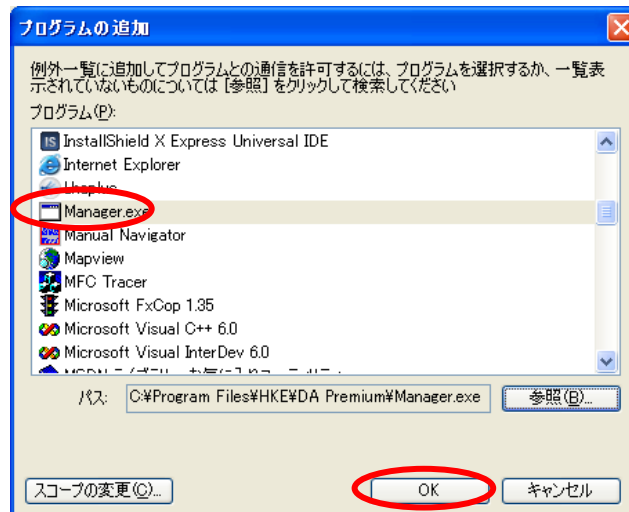
1. 「スタート」メニューをクリックして、「コントロールパネル」を選択すると、次に示すような画面が表示されますので、〇(赤丸)で囲んである「Windows ファイアウォール」をダブルクリックして起動します。

＜コントロールパネル＞

2. 「Windows ファイアウォール」を起動し、「例外」タブをクリックします。

＜ファイアウォールの例外タブ＞

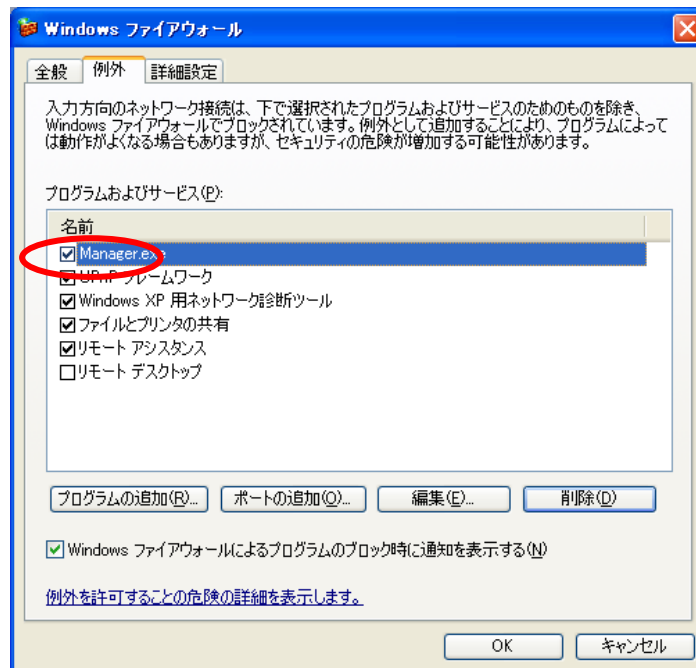
3. 「例外」タブをクリックすると、次に示すような画面が表示されますので、○（赤丸）で囲んである「プログラムの追加(O)...」ボタンをクリックします。

＜Windows ファイアウォール「例外」タブ選択時画面＞

4. 「プログラムの追加(R)...」ボタンをクリックすると、次に示すような画面が表示されますので、「参照(B)...」ボタンをクリックします。

＜プログラムの追加画面＞

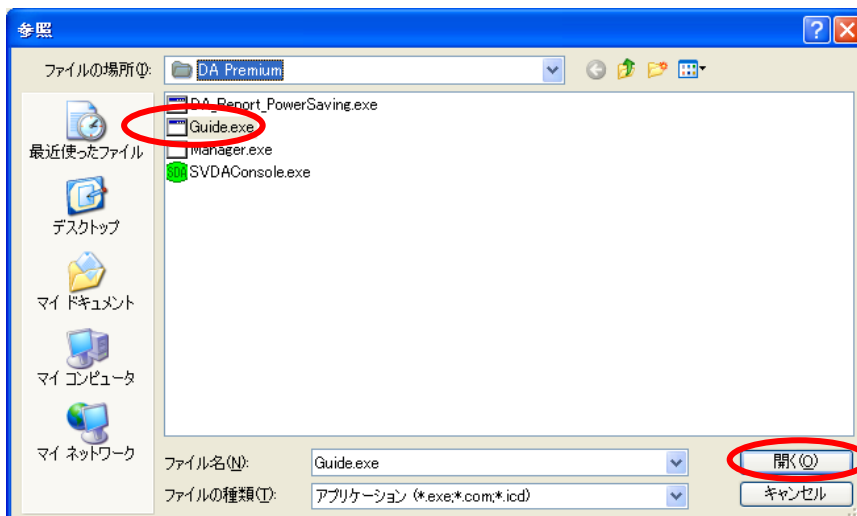
5. 「参照(B)...」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されますので、SAVINGDA-plus管理コンソールをインストールしたフォルダ（パスを変更していない場合は“C:¥Program Files¥HKE¥DA Premium”）に移動して、“Manager.exe”を選択して、「開く(O)」ボタンをクリックします。

＜参照画面：Manager.exe 選択＞

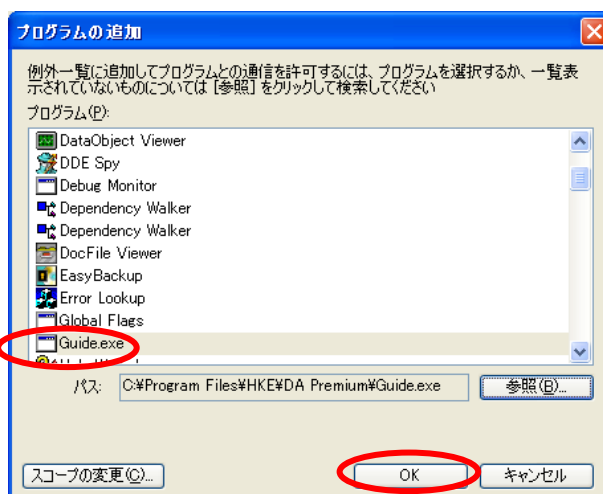
6. 「開く(O)」ボタンをクリックすると、プログラムの追加画面に戻りますので“Manager.exe”を選択していることを確認してから、「OK」ボタンをクリックします。

＜プログラムの追加画面：Manager.exe 追加後＞

7. 「OK」ボタンをクリックすると、Windowsファイアウォールの画面に戻ります。“Manager.exe”が追加されていることを確認してから、もう一度「プログラムの追加(R)」ボタンをクリックします。

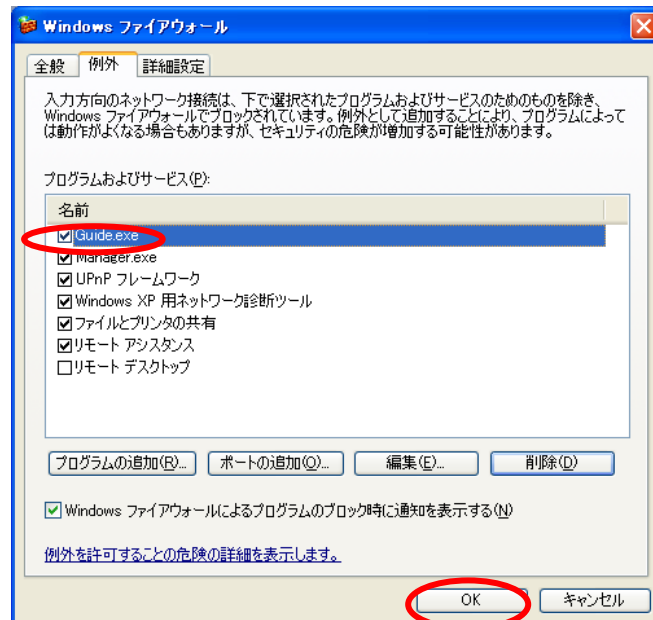
＜Windows ファイアウォール「例外」タブ：Manager.exe 追加後＞

8. 「プログラムの追加(R)...」ボタンをクリックすると、次に示すような画面が表示されますので、「参照(B)...」ボタンをクリックします。

＜プログラムの追加画面＞

9. 「参照(B)...」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されますので、こんどは“Guide.exe”を選択して、「開く(O)」ボタンをクリックします。

<参照画面：Guide.exe 選択>

10. 「開く(O)」ボタンをクリックすると、プログラムの追加画面に戻りますので“Guide.exe”を選択していることを確認してから、「OK」ボタンをクリックします。

＜プログラムの追加画面：Guide.exe 追加後＞

11. 「OK」ボタンをクリックすると、Windows ファイアウォールの画面に戻ります。プログラムの追加設定が 2 つとも完了すると、〇(赤丸)で囲んであるように追加したプログラムの名前が表示されます。プログラムの名前が追加されていることを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてファイアウォールの設定を終了します。

＜Windows ファイアウォール「例外」タブ:プログラム設定後画面＞

※「SAVINGDA-plus管理コンソール」の使用を中止する場合は、追加したポートの名前を選択し、＜Windows ファイアウォール「例外」タブ:プログラム設定後画面＞にある「削除(D)」ボタンをクリックして削除して下さい。